

災害対応と

温泉料金統一について

新風会 倉持照憲



質問→風倒木被害地に起因する災害対応への市長の考えは。二次災害が危惧される地域の把握と重点監視のランク付けは出来ているのか。

また、避難誘導体制と防災体制は万全なのか。風倒木被害地の現在の復旧数値は何%と認識しているのか。熱意の入れ方はいかほどか。今後二カ年間の数値目標は。阿波温泉と加茂めぐみ荘の温泉料金は

答弁→統一できないか。

特に危険が想定される地域には出向き、地元町内会、消防団、情報連絡員などと、具体的避難方法など協議を進めている。市の復旧率は現在三・四%。十七、十八年度で七割を目標に取り組む。行財政改革における料金見直しの観点の中で必要に応じて対応したい。

アルネ津山再建計画で 国、県の動向は

政津クラブ 高橋誠



質問→新市スポーツ施設の充実・整備は第四次総合計画にあがっているか。

答弁→「点検整備で基礎資料を作成」市営プールは総合計画の中で維持・発展を検討していく。

質問→校務員の業務に子供達への安全管理は含まない。学校の安全対策はどう図るのか。

答弁→人員配置は困難。地域の協力を求め安全な学校づくりを研究、検

質問→指定管理者選定委員会の構成に専門家の配置を図れ。

答弁→当面助役をトップに部内体制を予定。公認会計士等研究したい。

質問→アルネ津山の再建で国や県、関係者の動向に変化はあるか。

答弁→TMO財産処分承認、まちづくり交付金の導入、県支援の要望、天満屋から人材派遣など関係者が一体となって取り組まれている。

新市建設計画の

着実で確実な実行を

新風会 北本周作



質問→新市建設計画と次期総合計画の整合性は。

答弁→合併前に策定した新市建設計画は市町村の重要施策であり次期総合計画はその趣旨、内容を踏まえたものとし、合併効果を活かし一体感の醸成を図り、財政計画に裏づけされた総合計画とすることが必要である。

質問→防災対策上の支所の機能と権限は。

答弁→支所長を長とし支所本部を設置、本庁と連携を取り本庁から支所要員も配置し、対応を取る。また、集中豪雨など局地的な災害発生の際には、支所長判断で住民の避難や危険箇所などへ対応する。

少人数・三十人学級の 効果は大きい、実現できる

日本共産党津山市議団 久永良一



質問→「一人ひとりに目が行き届き、個人に応じた指導ができる」、「理解のおくれた子に対するきめ細かな指導ができる」、「先生の説明や他の発表を良く聞く」、「生徒指導面で早期に対応できる」、「学級が落ち着いた雰囲気である」、「児童生徒の人間関係をつかみやすい」、「不登校、いじめが減った」など少人数・三十人学級の効果は実証

答弁→義務標準法と多大な経費が要る点でできない。

質問→法は教育特区でクリアできる。財源は税金のムダ使いや政策転換で捻出、他市ではやっている。